



# 食品表示検定対策セミナー開催スケジュール

**[お申込方法]** 食品表示検定協会主催の対策セミナーは下記の通り開催します。申込受付は、3月4日(月)より開始します。インターネット、FAX、郵送にてお申込ください。最新情報はHPでご確認ください。

## ◆初級対策セミナー

受講料 **5,100円**(税込) 時間 **13:00～17:30**  
 内容 認定テキストの重要ポイントを解説します。

場所	日程	会場名
東京	4月21日(日)	アーバンネット神田カンファレンス(東京都千代田区)
大阪	4月20日(土)	新梅田研修センター(大阪市福島区)

NEW

### 食品表示検定初級対策セミナー《オンデマンド講座》(初級受験者の方へ)

初級対策セミナー(公開講座)を録画した内容を、PC・タブレット・スマートフォン等により、視聴期間中に繰り返し受講が可能です。公開会場では開催地やお時間の都合で受講できなかった方からご好評いただいております。※詳細はHP「セミナー」ページをご覧ください。

## ◆中級対策セミナー

受講料 **10,300円**(税込) 時間 **9:30～17:30** 内容 実力診断テストを交えながら、認定テキストの重要ポイントを解説します。

場所	日程	会場名
札幌	4月20日(土)	北海道自治労会館(札幌市北区)
	4月13日(土)	アーバンネット神田カンファレンス(東京都千代田区)
東京	5月10日(金)	KFCホール(東京都墨田区)
	5月26日(日)	
名古屋	5月11日(土)	IMYホール(名古屋市東区)
大阪	4月21日(日)	新梅田研修センター(大阪市福島区)
	5月16日(木)	
福岡	5月25日(土)	南近代ビル(福岡市博多区)

## 食品表示検定を活用している主な企業・団体(敬称略)

**【流通業・卸売業】** イオントップバリュ(株)、イオン北海道(株)、イオンリテール(株)、イオン琉球(株)、(株)イズミ、伊藤忠食品(株)、(株)エブリイホームイ HLDG、(株)オークワ、オーケー(株)、(株)光洋、国分グループ本社(株)、(生協) コープこうべ、(生協) コープさっぽろ、(株)さえぎ、(株)サンエー、(株)サンリブ、(株)シジージャパン、(株)セコマ、(株)セブン・イレブン・ジャパン、全日本食品(株)、(株)千足屋総本店、(株)タカヤナギ、(株)東急ストア、原信ナルスオペレーションサービス(株)、(株)平和堂、マックスバリュ中部(株)、マックスバリュ東北(株)、(株)ベルク、(株)ヤマザワ、(株)ライフコーポレーションほか

**【食品製造業】** えひめ中央農業協同組合、キュービー(株)、昭和産業(株)、日東インダ(株)、日本食研ホールディングス(株)、日本製粉(株)、日本ハム(株)、(株)はくばく、フジパン(株)、プリマハム(株)、(株)ブルボン、ポッカサッポロフード & ビバレッジ(株)、(株) Mizkan Partners、雪印メグミルク(株)ほか

**【その他】** ANA フーズ(株)、(株)寺岡販売、日本デリカフーズ協同組合(セブン・イレブン)、(株)フジデリカ・クオリティ、プライムデリカ(株)、(株)丸信、天使大学、山梨学院大学、梅花女子大学、(株)ジェイアール東日本リテールネット、(株)ジェイアール西日本フードサービスネット、(株)ジェイアール東海パッセンジャーズほか

**食品表示検定テキストのご案内** 全国主要書店、オンライン書店各社のサイト、ダイヤモンド社のホームページからご購入いただけます。



### 食品表示の基礎がわかる!

改訂5版  
**食品表示検定認定テキスト・初級**  
 発売:ダイヤモンド社 定価:1,400円(税別)  
 2018年1月発行 2019年度の初級試験対応  
 「食品表示検定・初級」向け認定テキスト。食品業界の食品表示初心者の方、食品表示を理解し、賢く商品を選択したい消費者、食品業界に就職を希望される学生の方にもおすすめ。加工食品の原料原産地表示義務化に対応済み。



### 食品表示の専門家養成!

改訂6版  
**食品表示検定認定テキスト・中級**  
 発売:ダイヤモンド社 定価:2,500円(税別)  
 2019年1月発行 2019年度の中級試験対応  
 「食品表示検定・中級」向け認定テキスト。加工食品の原料原産地表示義務化への対応をはじめとする最新情報を掲載するほか、表示の事例も豊富に紹介。食品業界で食品表示に携わる方必携の一冊。



### 初級合格のための副教材に最適!

**食品表示検定 初級・問題集**  
 発売:ダイヤモンド社 定価:1,400円(税別)  
 2018年8月発行  
 「食品表示検定・初級」初の公式問題集。実際の試験に準じた出題形式の練習問題により、試験対策はもちろん、食品表示への理解を深めるためにも役立つ一冊。

### メールマガジン配信中

「食品表示メールマガジン」にて、検定試験の案内、食品表示関連の最新情報を毎月無料配信しています。HPトップページよりご登録できますので、まだご利用のない方はこの機会にご登録ください。

【食品表示検定に関するお問い合わせ先】



主催:一般社団法人食品表示検定協会  
<https://www.shokuhyoji.jp>

〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3 千代田一番町ビル1階  
 TEL: 03-5226-6737 FAX: 03-5226-6723  
 メールアドレス: info@shokuhyoji.jp

# 2019年 食品表示検定試験

第19回 初級・中級  
**6月12日(水)**

第20回 初級・中級  
**11月17日(日)**

第9回 上級  
**11月24日(日)**

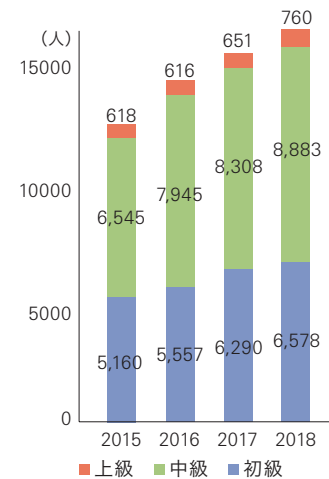
## ◆「食品表示」は消費者と事業者の信頼の絆

「食品表示」は消費者がその食品を購入する際の貴重な情報源です。事業者にとっては、消費者のために適正な食品表示を行うことが求められます。2015年に施行された「食品表示法」は、経過措置の期間が2020年3月末と迫っており本格的な運用が間近となりました(2017年に改正された基準の一部を除く)。「食品表示法」に準拠した適正な表示は、消費者に安心と信頼を与え、その情報を供給する事業者は正しいルールを理解が必要不可欠となります。食品表示検定協会は、検定試験を通じて皆様が最新の食品表示に関する知識を習得し、業務や日常に活かしていただけるよう支援しています。ますます重要性が高まる「食品表示検定」試験へのチャレンジをお待ちしております。

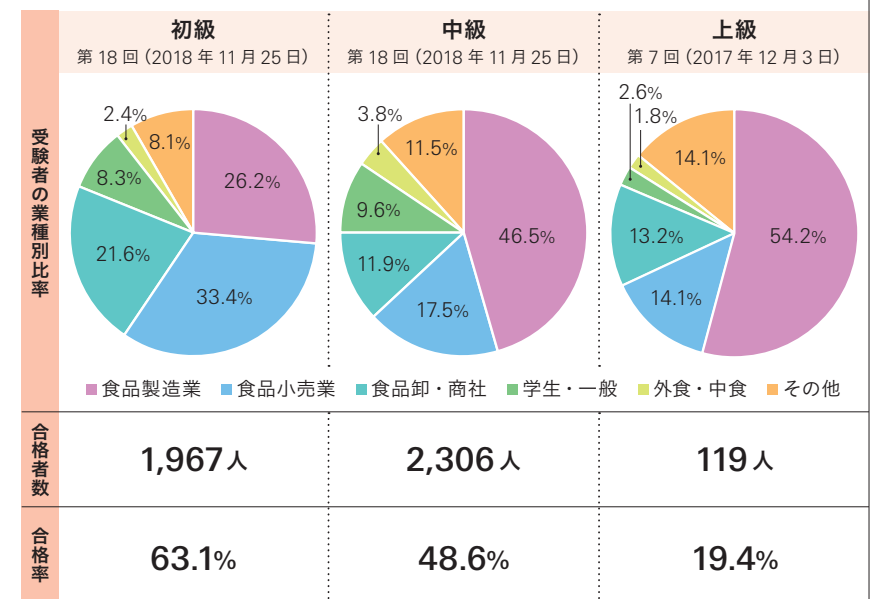
## ◆10周年を迎える「食品表示検定協会」食品表示検定試験の累計受験者数は11万人突破

2009年4月に発足した食品表示検定協会は、検定試験をご活用いただいております皆様のご支援のおかげで2019年に10周年を迎えます。この間、食品表示に関する法令が一元化され、食品表示基準が整備されました。そうした中、食の安全を確保し維持するために多くの企業、団体で食品表示検定を社員教育の一環として活用いただいております。また、食品業界に就職を希望する学生の方からも注目されるようになってきました。その結果、2018年の初級・中級・上級受験者数は合計16,221人となり、第1回からの「累計受験者数」113,274人、「累計合格者数」54,686人となりました。今後も皆様方の適正な表示作成の力を高めていただくために一層の努力をまいります。

## 【受験者数の推移】



累計受験者数 113,274人  
 累計合格者数 54,686人



主催

一般社団法人食品表示検定協会  
<https://www.shokuhyoji.jp>

後援

一般社団法人日本農林規格協会(JAS協会)  
 日本チェーンストア協会

## 各級のご紹介


食品表示検定試験は、食の生産、製造、流通等の職場で  
専門知識が必要な方から消費者の方まで対象にしています。

	こんな方にオススメ	こんなメリットがあります
初級	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品の製造、販売、営業に携わり、食品表示の基本を知りたい方</li> <li>● 食品業界、スーパーに就職活動をされる方</li> <li>● 食品表示を理解し、商品を選択したい消費者の方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品表示の基礎知識を得て、業務に活かせる。</li> <li>● 食品表示の意味を理解し、「安心・安全」な食品を選ぶことができる。</li> </ul>
中級	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品業界の開発、品質管理ご担当の方</li> <li>● 食品表示の知識が必要とされる食品の生産、製造、流通の現場でお仕事をされている方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品表示の専門的な知識を得て、業務に活かせる。</li> <li>● 食品表示に関する顧客からの質問に的確に答えられるようになる。</li> </ul>
上級	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品表示を作成する部門の責任者、実務者</li> <li>● 食品表示が正確かどうか検証する部門の責任者、実務者</li> <li>● 食品表示の相談を受ける方 (公的機関、コンサルタント)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品表示のエキスパートとして業務に活かせる。</li> <li>● 食品表示について自ら作成でき、指導できる。</li> </ul>


※初級からでも中級からでもご自由に受けたい級を選んでいただけます。初級、中級同日の受験も可能です。※上級は中級合格者であることが受験条件です。

### ◆ 合格者の声


株式会社セコマ  
法務・品質保証部  
品質管理課  
**池端 卓様**  
(2017年11月初級、  
2018年6月中級合格)



ANA フーズ株式会社  
CSR 推進部  
CSR 推進チーム  
**橋本千絵様**  
(2016年11月中級合格)



株式会社  
Mizkan Partners  
品質環境部 品質規格課  
**川口三徳様 (左)**  
**服部俊秀様 (右)**  
(2017年6月中級、同年11月上級合格)



### 認定テキストは、業務にそのまま結びつく座右の書です

JCSI (日本版顧客満足度指数) で高い評価を得ているセイコーマートを運営する株式会社セコマは、品質保証面でも高水準を維持する。商品の品質管理のほか、食品表示を担当する品質保証部は全員が中級以上の資格を持つ精鋭ぞろい。

池端卓さんは、大学時代に栄養学を学び同社に入社した。

「食品表示検定のことは学生時代に知っていましたが、何だか難しそうだったので受験はしませんでした。ところが、入社後の新人研修で食品表示検定・初級を取得することになりました。配属も品質管理課だったため一念発起し検定試験に臨みました」と池端さんは受験のきっかけを語ってくれた。

入社半年後に初級試験を受け見事に合格。その翌年には中級試験にチャレンジし、これも一回で合格した。

「検定に向けてとにかくテキストを入念に読みました。認定テキストはとてもわかりやすく解説されています。いまでも初めて見る表示や難しい表示があると、すぐにテキストを開きます。業務に直結した参考書として活用しています」と語る。

また、初級から中級へのジャンプアップには、先輩諸氏のバックアップもあったという。「先輩のなかに上級合格者もおりましたので色々教えてもらいました」。次の目標は上級合格。池端さんのチャレンジはまだまだ続く。

### 食品表示検定は、食品に携わる人にとっての「ひとつの目標」です

ANA フーズ株式会社は全日空商事が100%出資する食品会社。主力のバナナを中心とした生鮮食品から加工食品の輸出入、ギフト商品やスイーツ分野まで幅広い食材を取り扱う。

同社でギフト商品の食品表示チェックを主に担当する橋本千絵さんが、食品表示検定の中級試験にチャレンジしたのは2016年。業務上の必要性に加え、会社からの薦めもあった。「社内で食品表示検定を受験しようという雰囲気があり、特に中級は業務上でも必要な資格として会社からも推薦されていました」と話す。自宅では3児の母である橋本さん。通勤時間や子供が寝静まったあとにテキストを開き勉強をする日々を送ったという。会社からの支援もあり、試験間近になると会社が社内セミナーを開催し、バックアップしてくれた。

試験会場では、受験者の多いことに驚いたという。東京会場は1500人を超す受験者が集まる。「これだけの人が受験するのは、それだけ必要とされている分野なんだと感じました」と話す。試験後にはホームページで正答をチェック。合格をほぼ確認していたものの、後日、合格証が届くとホッとしたという。試験後は、「食品表示の基本がさらに身につく、曖昧なところがなくなった」という橋本さん。「食品に携わる人にとって、食品表示検定試験合格はひとつの目標だと思います」と話す。「難しいと聞いていますが、上級試験にはチャレンジしたいですね」と抱負を語ってくれた。

### 全員上級合格が合言葉！社内勉強会も活発化

株式会社 Mizkan Partners は、ミツカングループの日本+アジア事業の内務を行う会社。品質環境部は、お客様の安心のために商品の安全性や遵法性などに関する審査をする。いわばミツカングループの国内の品質関係はすべてここに集約される。品質保証には厳しい同社が食品表示に取り組んだきっかけは、ある部員が食品表示検定・上級を受験し、1回で合格したこと。それを知った上司が「これは業務の一環だ。それならば全員で受験しよう」と部署全体で取り組むことになった。しかも「どうせ受験するなら全員が上級試験の合格を目指そう」と社内勉強会も発足した。2017年には中級試験を15名が受験し全員が合格。そのうち2名が100点満点という快挙だった。上級試験には2名が挑戦し、1回で合格している。

上級合格者のひとり川口三徳さんは「部署全体のレベルアップにつながりました。そのまま実務につながっていったことは言うまでもありません」と語る。川口さんは社内勉強会の他に通勤時間を利用して徹底的にテキストを読み込んだ。一方、もう一人の上級合格者である服部俊秀さんは、2週間に1回開催している社内勉強会の担当でもある。その服部氏の勉強方法はPCを使い、Q&A方式で入力しておいたキーワードをランダムにピックアップして用語を読み解くというユニークなもの。全社一丸となった同社のチャレンジ。「全員上級合格」への道は、これからも続く。

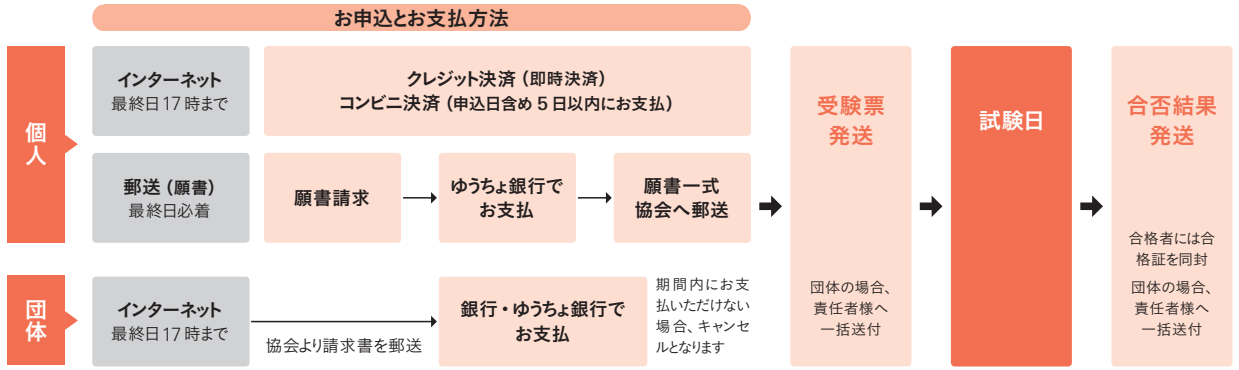
## 2019年食品表示検定実施概要

※実施概要は一部変更する場合があります。最新情報はHPでご確認ください。

	第19回 初級・中級	第20回 初級・中級	第9回 上級
試験日程	6月12日(水)	11月17日(日)	11月24日(日)
試験開始時間	初級：11時～(90分)、中級：14時30分～(90分)		13時30分～(150分) 途中休憩あり
試験会場	札幌、仙台、東京、長野*、名古屋、大阪、神戸、広島、松山、福岡、旭川、函館、釧路、北見、帯広、苫小牧 *今回は特別開催いたします。	札幌、仙台、大宮、東京、新潟、金沢、甲府、静岡、名古屋、大阪、神戸、広島、松山、福岡、鹿児島、那覇	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
申込方法	個人(インターネット、郵送)、団体(インターネット)		インターネットからの個人申込
申込期間	3月4日(月)～4月15日(月)	8月中旬～9月下旬予定	8月中旬～9月下旬予定
受験料(税込)	初級：4,900円、中級：8,200円		20,600円
	団体割引あり：各級単位で20名以上の場合(5%)		割引適用なし
受験資格	学歴、年齢、性別、国籍の制限はありません		中級合格者
出題範囲	〈初級〉「改訂5版食品表示検定認定テキスト・初級」 ※2018年1月発行。 2019年度の試験は改訂5版に準拠して出題されます。 <b>NEW</b> 〈中級〉「改訂6版食品表示検定認定テキスト・中級」 ※2019年1月発行。 2019年度の試験は改訂6版に準拠して出題されますのでご注意ください。		食品表示全般に対する試験で、法令、ガイドライン、Q&A等から出題します。
出題形式	マークシート方式		マークシート方式、記述式
合格基準	70点以上が合格(100点満点)		80点以上が合格(100点満点)

※団体派遣受験：初級・中級の団体申込の場合、各級で受験者数が企業100名以上(状況により50名以上も可)、大学・専門学校50名以上、かつ一定の条件を満たす場合、団体が設置した試験会場での実施が可能です。詳細はHP「団体派遣受験」をご参照ください。

### ◆ お申込から合否結果発送までの流れ



### [ 食品表示検定 初級試験 過去問題例 ]

栄養成分表示をする場合に、必ず表示しなければならない5項目の表示順序として正しいものを、次の①～④の中から1つんでください。

(1番目)	(2番目)	(3番目)	(4番目)	(5番目)
① 熱量	たんぱく質	炭水化物	脂質	食塩相当量
② 熱量	炭水化物	脂質	たんぱく質	食塩相当量
③ 熱量	脂質	炭水化物	たんぱく質	食塩相当量
④ 熱量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量

出所：改訂5版 食品表示検定認定テキスト・初級 「3-11 栄養成分表示について」 P124

①：熱量、②：たんぱく質、③：炭水化物、④：脂質、⑤：食塩相当量の表示順序が正しい。正解は①。